



2025(令和7)年10月

# なぎなた通信 第6号

発行責任者 会長

## 大谷翔平の言葉

限界を決めるな。  
人はどこまでも成長できる。



「わた SIGA 輝く国スポ」の大会スローガンのもと、9月29日、30日に行われたなぎなた競技で、本県のなぎなたチームは、東京都に次いで堂々の全国総合2位を勝ち取った。

### <選手と試合結果>

#### 少年女子の部

演技競技 3位

大木みらい・上原朱莉ペア(知念高)

試合競技 3位

大木みらい(知念高)、上原朱莉(知念高)  
宮城加奈吏(首里高)、

#### 成年女子の部

演技競技 5位

喜田真帆(小緑小教)・上地星菜(琉銀)

試合競技 2位

喜田真帆(小緑小教)、上地星菜(琉銀)  
上村奈央(沖尚付属中教)

団体総合2位



選手結団式の集合写真



結団式後のフォーショット  
瑞慶山監督と少年女子チーム  
の力強いガッツポーズ

今大会の結果を導いたのは、5月に青森県で行われた、都道府県対抗なぎなた大会で総合優勝を果たしたことが、一つの要因と言える。

選手にとって、前年度の6位入賞という結果に納得せず、その悔しさを力にかえてチームがまとまったことが、国スポ滋賀大会の総合2位につながった。

な  
ぎ  
な  
た  
チ  
ー  
ム  
快  
進  
撃



また、先輩たちのその流れを引き継いだ少年女子も滋賀国スポ大会への出場権をかけた九州ブロック大会で全勝優勝を果たし、その勢いのまま滋賀国スポ大会に臨み、総合2位に貢献することができたことは、誠にあっぱれである。

そして、選手の皆さんが異口同音に話していたことが、指導していただいた多くの先生方や支えてくれた家族・親戚の皆さんへの感謝の言葉でした。

特に、2か月余りの強化部の強化練習は、例年がない厳しい練習スケジュールのもと、午前・午後の2部練習も数回実施するなど、激しい練習を乗り越えた結果でもあったともいえる。

仕事を終えて夕方から指導していただいたり、休みを返上して指導していただいた先生方には、そばで見ている私たち役員も、感謝の気持ちでいっぱいでした。

相談役の仲田美加子様より

ー喜びのメッセージが届くー

研ぎ澄まされた技と心、日々の鍛錬が花開いた見事な栄光。

沖縄の風が誇りを運ぶ。あっぱれです。  
心から感動をありがとうございます。！

ー今後も大きな大会がまだまだ続くー

12月6日に東京武道館で行われる、全日本男子なぎなた選手権大会には、知念高校教員の瑞慶山良作と国際武道大の瀬長拓夢の両名が県代表として、新里玲太郎が大学の枠で出場することになっている。

また、翌日の創立70周年記念皇后盃全日本なぎなた選手権大会には、県代表として琉球銀行職員の上地星菜が出場する。選手の皆さんには、これまでの流れを背に受けて、大きな成果をあげていただきたい。プレッシャーを力にかえて、頑張ってくれることを期待したい。

全日本なぎなた連盟より

ー嬉しいお知らせが届くー

創立70周年記念皇后盃第70回全日本なぎなた選手権大会の開会式において、都道府県大会総合優勝の功績が認められ、「優良団体賞」の栄誉を賜ることになった。



試合前の頑張るぞーポーズ



国スポ総合2位を勝ち取り  
花束をもらってニコリ！



緊張が解け、談笑する  
監督・選手たち



大きな成果を残してくれた  
監督・選手たちに感謝、感謝！

